

地元書店からの直接購入が 地域還元につながる ～「諏訪モデル」の今と、これから～

令和7年6月14日

株式会社 笠原書店

図書館広域連携 「すわズラ～」

■ 諏訪6市町村



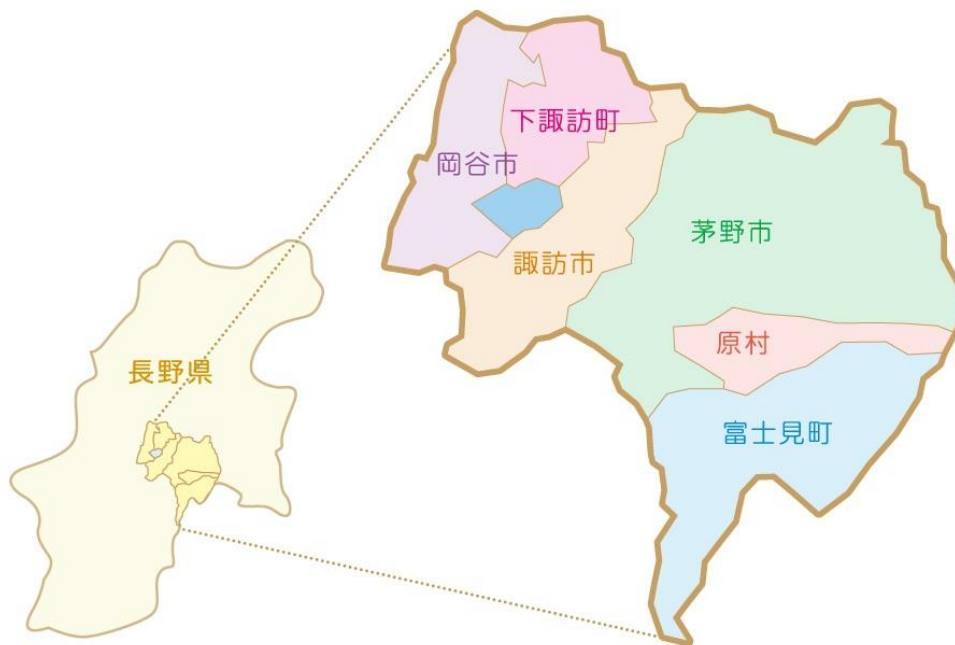
岡谷市



下諏訪町



諏訪市



茅野市



原村



富士見町

■ 図書館システム・MARC

図書館システムは同一ベンダー、MARCはTRC様製を共有
「すわズラ～」

株式会社 笠原書店

■ 会社概要

岡谷市で1925年に創業
従業員数40名、店舗2、外商営業所2

■ 店売部



【岡谷本店】



【レイクウオーク岡谷店】

■ 外商部

諏訪地区、上伊那地区、塩尻、松本地区の公共図書館様、学校様など

資料納入の変遷 ～地元書店の衰退

■環境の変化

1. 1994年頃までは、地域の公共図書館様への資料納入はほぼすべて地元書店が行っていました。
2. その後、書誌データの電算化や県外の図書館専門卸業者の進出により、地元書店の役割は雑誌など一部の資料納入と請求代行を行う代理店的な立場となってしまいました。
3. 更に選書提案や資料の受発注・納品などを、図書館専門卸業者にほぼ任せきりにしたことにより、地元書店の存在感は減る一方となりました。
4. その後、書店経営も年々厳しくなり、諏訪地方からも多くの書店が姿を消していきました。

➡ 諏訪地方の書店は、ここ30年で32店舗から9店舗へ
長野県は書店が1店もない自治体が53.2%（全国ワースト2位・24年調）

2018年「諏訪モデル」の提案 ～地元でできることは地元～

■ 資料発注について

書籍資料を地元書店に直接発注を

■ 装備について

フル装備（背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与）にて納品
ブッカー処理は福祉施設委託も

■ 選書について

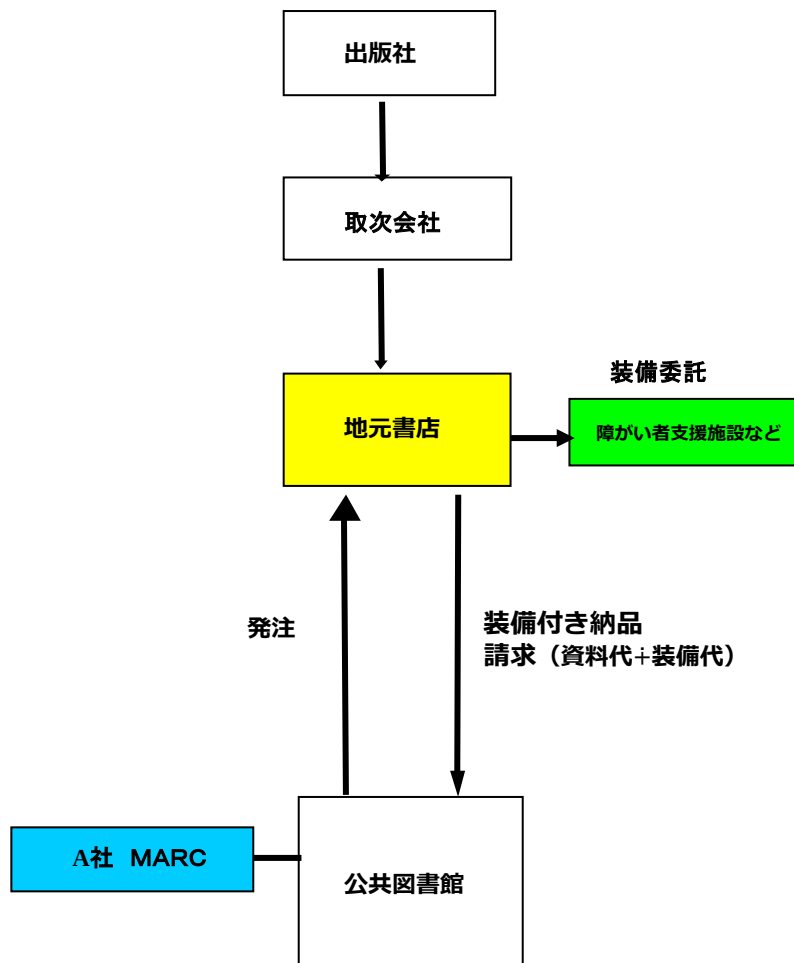
多種多様な選書方法の提案（新刊予約、実物見計らい、大型展示会など）

■ MARCについて

1 社択一から、ローコストなMARC提案

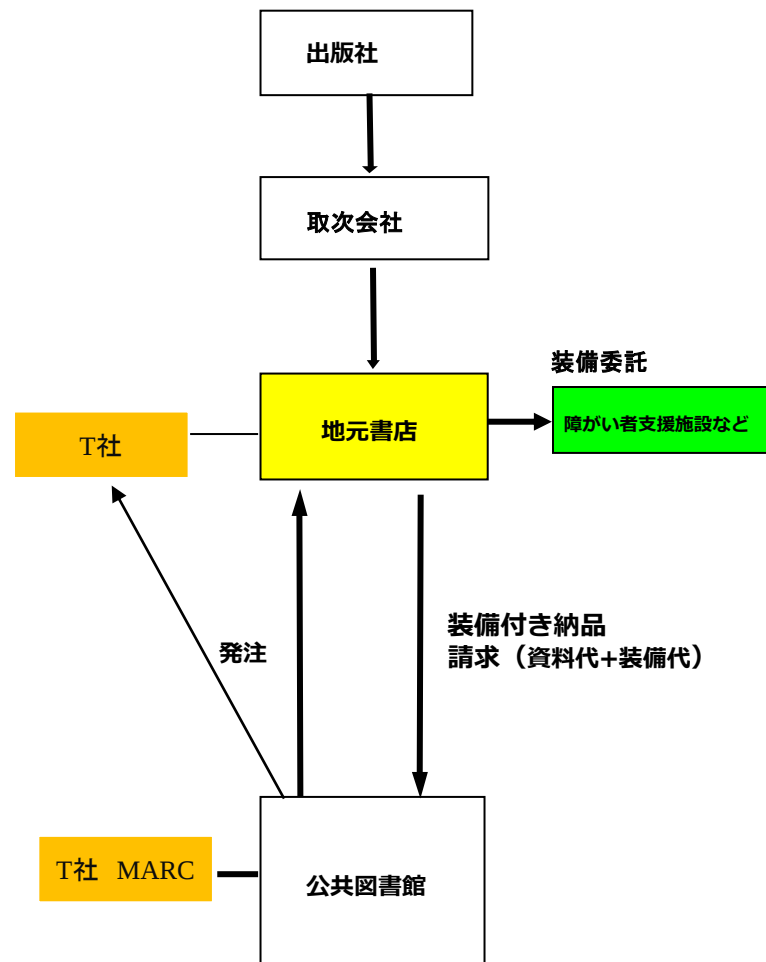
地元書店からの直接資料納入「諏訪モデル」

パターン1



OR

パターン2 (従来物流・MARCを残すパターン・現状)



「諏訪モデル」の今 ～地元書店でもできる

■ 岡谷市での実績

笠原書店は、予算のほぼ全ての書籍をフル装備（背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与）し、受注翌週に約80%納品
ブッカー処理は約70%を福祉施設に委託

■ 下諏訪町での実績

笠原書店は、予算のほぼ半数の書籍をフル装備（背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与）し、受注翌週に90%以上納品

■ 諏訪市での実績

納入組合（2書店）は、児童書の一部を直接受注し、ブッカー処理を福祉施設に委託

■ 茅野市での実績

納入組合（2書店）は、予算のほぼ全ての児童書をフル装備（背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与）にて納品

■ 選書について

諏訪郡市書店組合主催により、毎年春季に大規模児童書展示会を開催
茅野市は、児童書の実物見計らい選書の実施

（※図書館システム・MARCは従来通り6市町村で継続使用中）

「諏訪モデル」の今 ～地元書店だからできる



【毎年5月に開催する児童書大展示会（岡谷市テクノプラザ）】

【保護フィルム掛け作業を、笠原書店と
諏訪市納入組合は就労継続支援B型作業所に委託】

「諏訪モデル」による地元還元効果 ～地元書店だからできる

■ 資料直接納入により（岡谷市の例）

岡谷・下諏訪図書館の弊社からの年間資料直接購入額＝約 1,000 万円
その内の約 10%を、地元住民に給与として支給
その結果、直接納入（2020年）から5年経過し、
総額約 500 万円が地元住民に還元
装備工賃は年間約 20 万円、5年間で約 100 万円還元

■ ブッカー処理を福祉施設に委託することにより（岡谷市の例）

岡谷市の就労継続支援B型事業所では、
5年間で延べ 500 人が装備作業に従事

■ 多様な選書方法を利用することにより

展示会、見計らいによる実物選書で、より確実な予算消化にも

「諏訪モデル」のこれから ～WIN・WIN・WINへ

■ 選書について

出版社の協力による蔵書診断 (元日比谷図書文化館図書部門長 菊池壮一氏提案)

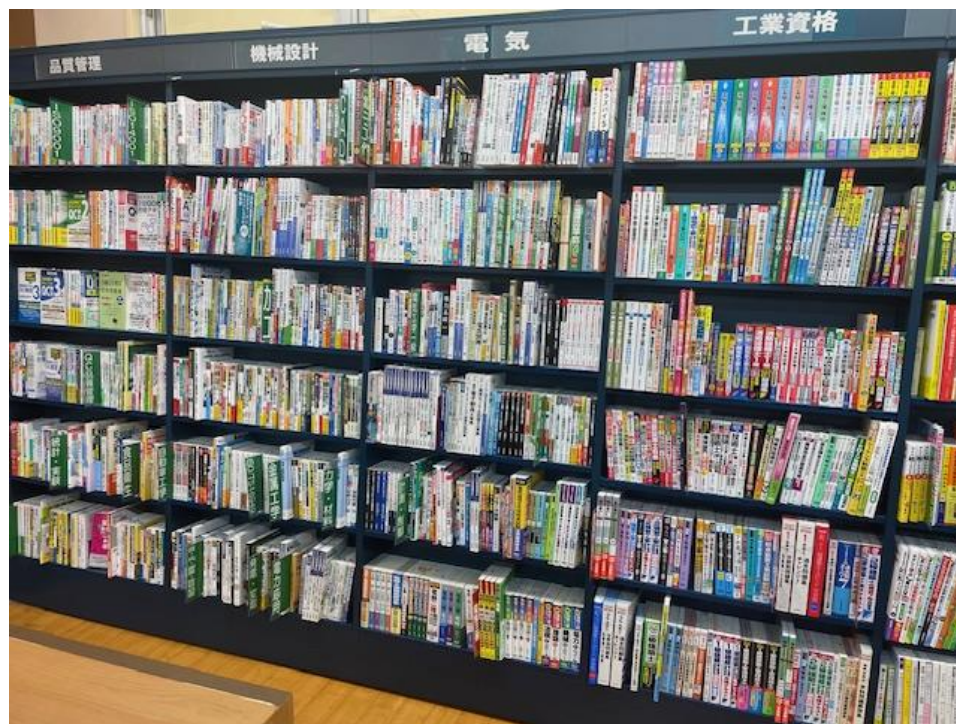
「諏訪モデル」のこれから ～WIN・WIN・WINへ

■多様な選書方法の提案（岡谷市の例）

来店型選書により多種多様な書籍からの実物選書



【地方新聞社発行本フェア】



【工業系専門書コーナー】

「諏訪モデル」のこれから ～WIN・WIN・WINへ

■多様な選書方法の提案（岡谷市の例）

来店型選書により多種多様な書籍からの実物選書



【常設の郷土関係古本コーナー】



【古本市】

「諏訪モデル」のこれから ～WIN・WIN・WINへ

■ 貸出し図書の返却窓口を書店に設置（岡谷市・検討中）

長時間営業、年中無休、駐車場



「諏訪モデル」のこれから ～WIN・WIN・WINへ

図書館と書店の連携が、
豊かな読書環境と地域還元につながる！

- 多種・多様な選書方法が、独自性と特色のある
図書館蔵書につながる
- 貸出し・返却窓口の書店設置が、
図書館利用者の利便性向上に、書店来店者の増加につながる
- 書店在庫情報プロジェクトの「すわズラ～」との連動が、
図書館利用者の利便性向上に、書店送客につながる
- 図書館と書店は、もっと連携できる

図書館と地元書店の連携が「かおり高い文化のまち」をつくる



【本店入口の経営理念銘板】